

てだこの都市・浦添
をめぐらして

めぐらす姿

「てだこ」とは、浦添市縁の「英祖王」の神号にちなんでおり、沖縄の方言で「太陽の子」を意味します。

太陽は衰退することなく、闇を切り開き、世界を明るく照らします。そして、生きとし生けるものに息吹を与え、万物を活性化させます。

私たちは、英祖王の優れた実績を学び、全ての市民の幸せを願うとともに、浦添市が永遠に発展し続ける力を保持していくことをめざします。

その願いを込め、私達のめぐらす理想の都市像を「てだこの都市・浦添」とします。

まちづくりの目標

太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市

すべての市民が太陽(ティード)のようにいきいきと輝く豊かな自然(緑と水)と歴史・文化を大切に守り、活かした住みよいまち世界に開かれた活力と創造性豊かなまち

